

参議院選挙 選挙に行こう の取り組みが東京の投票率を押し上げる

要求実現へ継続して運動に取り組みます



東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>
印刷部数112100部(購読料は組合費に含まれています)
年間購読料1800円(定価50円)

東京都新宿区北新宿1-8-16
東京土建一般労働組合
電話 03(5332)3971(代表)
FAX 03(5332)3972

発行人・編集人
吉川 豊

全3回
連続講座

事業所セミナー 「働き方改革シリーズ」

第3回 賃金・手当の検討をし、新しい出発へ
労働時間の管理をし、賃金・手当について学習

日時：8月25日(木) 19時～20時30分
会場：東京土建本部会館 5階
講師：高田 聡史 社会保険労務士
費用：無料

WEB参加可

全3回の事業所セミナーの1回目は「労働時間管理」について、2回目は「残業代」についてそれぞれ学習しました。建設業界の働き方は現場がある以上、一定の見なしで働いた実態を賃金化するという考え方で、日給月給や土曜日就労が常態化していました。しかし、この概念を変えていかねばならない法が2024年4月から建設業でも施行されます。第3回は8月25日に「賃金・手当」について学習します。働く人々は変わらずとも「働き方」についての考え方は大きく変えなければなりません。事業主・労働者ともにどうしていくか、すぐに着手すべき課題です。

お申込みは
東京土建一般労働組合へ

FAX 03-5332-3972

秋の大運動で仲間の声を実現へ

組合では、この選挙戦を通じて明らかになった課題、「効果的な物価高騰への対策」「消費税の減税とインボイス制度の

参議院選挙の結果は、与党が非改選議席と合わせ参議院定数の過半数を維持しました。立憲野党(立憲民主党、日本共産党、社会民主党)は1人区での共闘が進まず、政権批判票が分散したために、前回の参議院選挙結果から後退しています。改憲を是とする政党は非改選議席を含め、改憲発議に必要な3分の2(166議席)以上となりました。東京選挙区は、定数6人で与党と野党が2分する結果でした。選挙直前の世論調査(読売新聞)の、「重視したい政策や争点は？」との設問では、「景気・雇用」、「年金・社会保障」、「物価高騰対策」が多数で、「憲法改正」との回答は少数でした。より私たちの生活に密着した課題の解決こそが、有権者の願いであることがわかります。しかし、全国の投票率は52.05%で歴代

では4番目の低さとなり、正確に世論が反映されているのか疑問が残る結果でした。一方、東京選挙区は投票率56.55%で全国3位に上がりました。物価高問題が都民の選挙への関心を高め、投票率を押し上げたとみられます。また、東京土建も取り組んだ「選挙に行こう」というキャンペーンが各所で繰り広げられ、争点も明確になった事が効果を発揮したと言えます。選挙結果を消費税の問題から見ると、消費税減税を主張した政党の比例票は、税率引き下げを拒む与党の得票を355万票上回り、消費税減税の世論がさらに大きくなっている事がわかります。また、選挙戦によりインボイス制度について、各政党や議員の考えが明らかになり、争点の一つにもなりました。

中止」「改憲よりも経済問題の解消を」という要求を、秋の大運動での組合員アンケートでさらに明らかにして、本部での省庁要請行動と各支部での自治体会派要請に反映させ勝ち取っていきます。

有権者の願いは「憲法改正」より「暮らし・仕事」第一 消費税減税の声が多数派へ

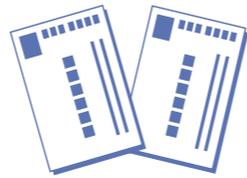


「全員でできる運動」ハガキ要請行動 8月から東京都に向けて私たちの思いを届けます!

政府は国保制度改革として、国保組合に対するさらなる補助率の見直しを検討しています。国による国保組合への補助金削減の動きは、東京都にも影響を与えます。

東京都国保委員会1999年答申では、都費補助金の根拠として「国保組合の存続は重要であり、公営国保を補完する役割を担うという前提でその育成に努める必要がある」と触れています。

建設国保が、東京都民でもあり組合員でもある仲間と家族の健康を守っていること、その安定運営のために都費補助が重要な役割を果たしていることを東京都に強く訴えていく必要があります。11月の対都交渉では、例年国保課長が仲間からの手紙を読み上げます。仲間の思いの込められた、たくさんのお手紙を都庁に集中しましょう。



東京都に要請する仲間

建築カレッジ生の募集開始

東京建築カレッジの第28期生(2023年4月入学生)の募集がスタート。学校・授業見学は毎週おこなっています。予約はTEL03-5950-1771(技術研修センター内カレッジ)。説明会の参加は入学を希望する本人はもちろん、若手を採用・育成したい事業主も大歓迎です。どついたら新規入職者を獲得・育成できるのか、率直に語り合ってください。

東京建築カレッジのHPはこちら

オープンキャンパスのご案内や学校の様子を伝える『カレッジ通信』をご覧ください!



募集日程 第28期生 2023年4月入学生：第1回から第5回 日程

	第1回募集	第2回募集	第3回募集	第4回募集	第5回募集
応募締切	8月19日(金)	9月22日(木)	10月21日(金)	11月18日(金)	1月20日(金)
試験日	8月23日(火)	9月27日(火)	10月26日(水)	11月22日(火)	1月25日(水)
結果発表	8月25日(木)	9月29日(木)	10月28日(金)	11月24日(木)	1月27日(金)

※試験日の開催時間 午前9時20分から午後4時頃

相談のよりどころ 東京土建を 広く示そう



コロナ新規感染者数が急拡大しています。引き続き3密を避けて、うがい・手洗い・手指消毒をごまめに行って、組合運動に取り組みましょう。この間の原油価格や食料品価格が高騰、円安に拍車がかかり、私たちの収入は増えるどころか、実質収入は大きく減少し、一段と厳しい状況になっている仲間がいます。深刻な状況にある仲間と未加入の仲間の支えとなる活動が、極めて求められる時になります。事業復活支援金の受付も終了して、資産を売却や、融資を受ける状況にある仲間も出てきます。

これが持てるように、「どのような現場で働いているか」「建設資材の供給状況」などを出し合って、仕事でもつながりを持てるように、群会議で話し合ってください。そのような話し合いを通して、仲間の切実な要求を役員や組合事務所に寄せてください。こうした声が自治体や国を動かす大きな力となって、支援策の創設や改善につながります。



頼れる組合 東京土建を知らせ 悩み苦しむ仲間へ寄り添おう

